

コミュニティスクール通信 No.2



～ 輝け子どもたち ～

2019. 7月 丸子中央小学校支援ボランティア

～丸子中央小のコミュニティスクールは、みんなの力でここまでできました。～

丸子中央小学校の学校支援ボランティア活動にらせていただき、早くも4か月目となりました。「地域とともにある学校」を目指して、丸子中央小のコミュニティスクール活動は、子ども・学校・ボランティア、みんなの力でここまでできました。この間の活動の一部を紹介します。

コミュニティルーム盛況 ～ 毎週 月・木曜日の二時間目休みに開設～

6月13日(水)にオープンしたコミュニティルームは、毎回大盛況です。今のところ、一年生を対象に開いていますが、毎回大勢の児童が元気なあいさつとともに来てくれます。

他の学年の児童も関心をもって見に来てくれていますので、学校と相談しながら順次学年を拡げて行く予定です。～ ぬり絵、折り紙、絵合わせ、かるた、ペーパーフラワー、ペットボトルのストロー矢飛ばし、ピンポン、こま、お手玉、お手玉ボーリング、とんとん相撲、紙とんぼ、紙飛行機等・・・～ にぎやかに歓声をあげています。7月は、七夕飾りを作り、短冊に素敵な願いをこめました。昔から継承されてきた年中行事等も大切にしながら一緒に楽しみたいと思います。



畑に実った見事なキュウリ、トマトに感動！

教員住宅の跡地の校庭スタンド上の畑に、5月22日、2年生がキュウリとトマトの苗を植えました。以来、毎日かかさず水やりをしてくれた子どもたち、それを陰で補ってくださった先生方、時期時期に誘引作業・除草剤散布等で支えてくれた「あさつゆ」の方々・ボランティア、みんなの力で、7月の今、野菜は大きく育ち、見事なたくさんのキュウリが毎日収穫できています。

ミニトマトはこれから赤く色づき、一気に最盛期を迎えようとしています。思えば4月に、機械も入れないスタンド上の天空のような場所を、「この跡地を学習の場としたい。畑にできないか。」と考えた学校の熱い思いが、地域の人を動かし、子どもたちの生きた学習へと実を結んだのだと思います。

作業風景



キュウリがとれたよ！（写真：中央小より）

（後記）

コミュニティスクール通信2号となりました。丸子中央小学校で、コミュニティスクール活動を始めさせていただいて早4か月目を迎えました。コミュニティルームに来てくれる一年生の児童が、日に日に大きくたくましく成長し自信に満ちていく姿を目の当たりにしながら、学校の力、教育の力はすごいなと改めて感じさせられます。

4月から、学校や地域の仲間の皆さんと無我夢中で走り続けてきましたが、「学校地域協働活動」がこれほどの充実感を得られるとは当初は思いもよりませんでした。コミュニティルームでの活動や畑での野菜作りの学習のお手伝いを協働でやってきましたが、一番は学校の熱意とそれを何とか形にしたいというボランティアの思いが一つになって、ここまでこれたと感じています。まさに、「学校地域協働活動」という言葉をかみしめています。

コスト、効率が優先されがちな現代社会の中で、大人になるにつれ、いつのまにか忘れがちになってしまっていた純粋な心とか、人間として大切なものを、学校の子どもたちや先生方から気づかされ「ハッと」することがあります。地域の私たちを受け入れ、信頼して下さる子どもたちや学校のためにも、私たちも日々誠実に謙虚に取り組まねばと改めて感じています。

2学期からは、コミュニティルームの内容の拡大と充実を図り、すばらしいボランティアの仲間の皆さんと力を合わせて着実に進んでいきたいと考えています。また、コミュニティスクール活動の推進にいつもご支援とご協力をいただいている上田市教育委員会、丸子公民館に感謝申し上げます。

なお、中央小学校のホームページには、学校の様子とともに地域ボランティアの活動も日々アップしていただいております。活気溢れる丸子中央小学校の子どもたちの息吹と躍動が伝わってきます。ぜひ併せてご覧ください。（竹花のり子 記）